

農業、企業との連携、荒廃農地対策、教育機関との連携、農福連携、食育・教育

農 福 連 携 は 地 域 資 源 に ！

活動の経緯

平成17年度より、障害者の真の自主自立を目指し、当事者、地域、関係者などと連携しながら、障害者の能力を引き出す作業環境を整備し、障害者の経済的自立に向けた就労支援に取り組む。

活動の概要

障害者の所得向上に向けた福祉完結型の農福連携及び教育機関などの地域連携に基づく農福連携を推進。



地元保育所の子供たちとの田植



高齢農家から事業継承した梨園

活動の成果、主な実績等

○就労継続支援B型事業所3か所、就労継続支援A型事業所1か所で田畑の耕運から出荷まで、様々な場面で障害者がそれぞれの特性を活かし作業に取り組んでいる。また、高齢農家から梨園を事業継承し、廃園による荒廃化を防いだ。令和4年度は農業に関わる障害者は80名を超えており、耕作面積は平成30年度の12haから令和4年度の27haへ拡大、農業売上は平成30年度の約4,800万円から令和4年度の約1億円へ大幅に増加し、地域の衰退しつつある農業を支える立場になりつつある。

○法人内の事業所の菜の花では、地域の教育機関と連携して職場体験、実習受け入れなど世代を超えた交流が行われている。

○就労継続支援B型事業所平均工賃は平成30年度の約39,000円から令和4年度の約59,000円へ増加しており（群馬県の平均工賃月額18,079円）、農福連携による高収益の成果が表れている。